

【第6回アフリカ開発会議サイドイベント】

TICAD VI ハイレベルパネル: Africa, toward 2063 and beyond

JICA（国際協力機構）は、8月28日、ナイロビのケニヤッタ国際会議場にて、「Africa, toward 2063 and beyond」と題し、アフリカが持続的で包摂的な開発を実現する上で直面する課題と中長期的な展望をテーマに、ハイレベルパネルイベントを開催しました。

アフリカからは、ルワンダのカガメ大統領、リベリアのサーリーフ大統領、ナイジェリアのオバサンジョ元大統領、アフリカ開発銀行（AfDB）のアデシナ総裁、米国コロンビア大学からはスティグリッツ教授（ノーベル経済学賞受賞者）（以上、パネリスト）、JICA から北岡理事長（モデレータ）が登壇しました。また、安倍晋三内閣総理大臣及び大塚拓財務副大臣がそれぞれ開会・閉会の挨拶を述べました。



安倍総理からの開会挨拶に続き、オバサンジョ元ナイジェリア大統領より基調講演があり、その後北岡理事長をモデレーターとして、パネルディスカッションに移りました。

パネルディスカッションの冒頭、北岡理事長より、①今後の中長期的なアフリカの開発の可能性、課題、戦略、特に若者と女性の果たすべき役割、②アジアとアフリカが経済的、知的交流を促進し、お互いから学ぶべきことは何か、③国際社会の未来に向けて、アフリカが経済的のみならず政治的、社会的、文化的に貢献できることは何か、といった問題提起を行ない、各パネリストによる積極的な意見交換が行われました

イベントタイトルに掲げられた「2063年」は、アフリカ連合の前身であるアフリカ統一機構の設立（1963年）から100年目となる節目の年であり、2014年にアフリカ連合が採択した長期的なアフリカ開発ビジョンである「アジェンダ2063」の目標年です。この「2063

年」に向けて、パネリストは、エネルギー・資源や農産品などの輸出に依存した経済から転換し、包摂的で持続可能な成長を実現することが重要であるとの認識を共有しました。その上で、今日アフリカを取り巻く経済、社会、環境の変化、課題を乗り越え、どのように「アジェンダ 2063」を実現し、長期的な繁栄を達成するのかについて議論しました。

最後に北岡理事長は、①初のアフリカ開催によりアフリカのオーナーシップが高まった今回の TICADVI は、これまでも増して重要なものとなった、②本日のイベントで議論された様々な課題に、日本・JICA はアフリカとともに取り組んでいる、③アフリカの幅広い課題に効果的に取り組むためには、本日参加のリーダーのようにパワフルで知的な指導者とともに、アフリカと日本の共通戦略を構築することが必要である、と議論を締めくくりました。

■ 本イベントの登壇者

【開会挨拶】

- 安倍晋三 内閣総理大臣

【基調講演】

- オルセグン・オバサンジョ ナイジェリア連邦共和国前大統領

【パネリスト】

- ポール・カガメ ルワンダ共和国大統領
- エレン・ジョンソン・サーリーフ リベリア共和国大統領
- オルセグン・オバサンジョ ナイジェリア連邦共和国前大統領
- アキンウミ・アデシナ アフリカ開発銀行総裁
- ジョセフ・スティグリッツ 米国コロンビア大学教授

【モデレーター】

- 北岡伸一 JICA 理事長

【閉会あいさつ】

- 大塚 拓 財務副大臣

【司会進行】

- 加藤 宏 JICA 理事